

名称	永田農園
代表者	永田 広之 ながた ひろゆき
所在地	島田市井口
キャッチフレーズ	世の中の普通を畑に持込み、お客様の要望に応じた生産出荷体制を築く

経営概要

(1) 設立の経緯

永田氏は、異業種に就業後、2010年に永田農園の6代目として親元就農しました。就農当時は、水稻と玉レタス中心の家族経営でしたが、「農業経営が続かなくなるのは親が農業を行えなくなった時だ」と考え、雇用労働力の確保及び夏季作物の選択と集中を行いました。その結果、現在は16.9haのほ場で、レタス（玉レタス、ロメインレタス、グリーンリーフ）10ha、トウモロコシ0.5ha、枝豆3.5ha、ブロッコリー0.5ha、カリフラワー0.2ha、水稻2.2haの栽培を行っています。



(2) 経営の特色（販路の拡大）

就農前の異業種での勤務経験から、農業における販路の少なさと、各産地の出荷量で価格が決定するため、自身に価格決定権がないことに違和感を覚えました。そこで、市場出荷中心の経営から、顧客の要望に応じた生産出荷体制を築き、企業との直接取引を行うことで安定した農業経営へと転換しました。2019年には枝豆の販売を中心とした直売所を開設し、永田農園の美味しい野菜を地元の方々に届けています。

学校給食への納品や近隣の小中学校の農業体験・農業に関する講義を行うなど、子どもたちの農業に対する理解を深める取組にも積極的です。

こうした取組が評価され、永田氏は令和5年度「ふじのくに未来をひらく農林漁業奨励賞」を県知事から表彰されました。



(3) 今後の方向

今後は栽培品目の拡充や機械化による栽培面積の拡大を目指していきます。直売所では夏場の枝豆に加え、今後はコーン茶や米粉など加工品の販売も行っていきます。静岡県産の有機質肥料や堆肥・緑肥等も活用しながら、環境に配慮した農業を目指していきます。